

(鉄と、トルク。)

Creator

八木義博 Yoshihiro Yagi

クリエイティブディレクター、アートディレクター／株式会社 電通
1977年京都府生まれ。
京都造形芸術大学情報デザイン学科卒業後、株式会社電通入社。
企業VIから、パッケージデザイン、広告コミュニケーションまでトータルに展開。主な仕事に、JR東日本「行くぜ、東北。」、Panasonic「LIFE IS ELECTRIC」、HONDA「Honda.Great Journey.」など。CANNES DESIGN LIONS グランプリ、ONE SHOW DESIGN グランプリ、D&AD Yellow Pencil、N.Y.ADC 金賞、JAGDA 新人賞など受賞多数。
京都造形芸術大学客員教授。

Printing Director

長谷川太二郎 Daijiro Hasegawa

ボルトたちが、それぞれのトルクで頑なに締めまり続け、錆びやオイルにまみれた健気な鉄の部品に情感が湧く。銀インキのアンサンブルで屈強な鉄を浮かび上がらせた。

鉄の強さをテーマに

「PASSION」という展覧会テーマをどう捉えるか、最初はちょっと悩みました。普段の仕事では必ず課題があるのに、今回は課題はなくテーマという自由なステージだからです。はたと戸惑ってしまったのですが、凸版印刷の方が「楽しんで」と言ってくれたんです。この言葉がすごく心に残っていて、「まあ、失敗しても僕を選んだのが悪いんだから」と思いきり楽しむことにしました。

それに考えてみれば、僕らがこうして考えること自体が「PASSION」のようなものです。生きていること、生きること、それ自身を「PASSION」として捉え、普段から興味をもっている鉄をモチーフにすることにしました。

鉄が好き？

鉄橋とか鉄道とか、メタルなのが好きですね。そこから展開して、鉄をモチーフに「強さ」を表現しようと。

鉄って強さの象徴のように感じませんか？日本は鉄を産業の基盤としてここまで這い上がってきたわけですし、鉄橋のような構造物のトラスって本当に力強いですね。チタンやアルミのように鉄より性能のいい金属はたくさんあるのに、なぜか僕らは鉄に圧倒的な強さを感じる。「アイアンマン」という映画だってあるほどですから。

鉄の傷を重視されていますね。

はい、雨や風をじっと耐えて凌ぎながら踏ん張っている鉄橋は、むしろ錆びてひび割れているほうが強く見える。まるで傷ついてもじっと耐える人の姿のようにも思えるし。それを薄くて弱い存在の紙の上に表現できたら面白いだろうと考えました。

しかも、人間の身体には鉄分が含まれてもいる。鉄は物質的にも精神的にもとても身近な存在だということも、モチーフとして良いかな、と。

イメージは「シルバーの合唱」

印刷的に言えば「シルバーの合唱」。とにかく鉄を表現するシルバーを主役にしようと考えました。シルバーの印刷表現の組み合わせによって、いろいろな鉄のデザイン表現ができれば、それはちょっと新しい取り組みになりそうですし。

具体的にはどのように？

色々なテクスチャーやグラデーションなど基本的な技術を使ってできるだけ多くのシルバーの表情をつくりだそうと心掛けました。その一つがPDの長谷川さんのアイデアで、鉄粉をシルクスクリーン印刷で刷り込んだことでした。

当初は鉄粉自体が錆びても面白いと実験していったのですが、最終的にはリアリティのある物質感を紙に定着するという意味で用いています。

独特の粒子感が出ましたね。

基本的な構造として、オフセット印刷のシルバーがベースで、一部にスミで明暗の調子を持たせています。その上にシルクスクリーン印刷のシルバーや鉄粉を刷り重ねました。

シルクスクリーンは紙にベタッとインキが載るので、平面なのに立体感がありますよね。「下にも何かあるんじゃないか」と思わせる立体造形的な物質感が面白い。

鉄粉を入れた効果は？

鉄粉の粒子が効いてカスレが生じて、シルクスクリーンの下からオフセットの印刷面が覗き見えたのが、計算外の効果になりました。狙った部分と偶発的なものが混ざり合って、面白い表情が生まれたと思います。実は、けっこうドキドキしながら入稿していました。いつもはある程度仕上がりを予測しながら印刷側に渡すけれど、今回は結果が読みきれない。仕事でもシルクスクリーンをよく使うので経験値もかなりあるほうだとは思いますが



ど、それでも見えない部分が多々ありました。でも、そもそも印刷実験が目的ですから思いきって、PDと突っ込んだ話もできたり、すごく興味深い体験でしたね。

鉄錆びと機械油の表現で

鉄の表現にもう一つの要素として加えたのが錆びとオイルの滲みです。

いわばネガティブな要素と言えるものたちですが、どちらも「頑張った証」として、効果的に取り入れることで鉄が力強く見えるように表現しました。

具体的には？

用紙には敢えて風合いのある紙を選び、シンプルにネジやナットが浮かび上がってくる状況を試みています。シルバークロム自体の表現力を活かすならコート紙のほうがよかったかもしれませんが、今回は質感の対比を際立たせることを重視したので。

機械油のような表現も印象的ですよね。

汗と涙がきれいに見える瞬間は、頑張っている時に訪れる。滲み出るオイルは鉄のボルトの血と汗と涙のようなものじゃないかと。それを表現できれば、また違う強さが生まれるのではないかと考え、パールを効果的に活用した印刷表現を探りながら版下をつくりました。

「油膜のキラキラ」のような表現は？

オフセット印刷で色味のベースをつく

り、上から数種の偏光パールをシルクスクリーンのグラデーションで重ねて表現しています。

このオイルの表現が、実はいちばん心配だった部分だったのですが、わりと簡単にできて。そういう予想外なことがたくさん起こっているんです。

すべての要素に思いをこめて

デザイン構成は、印刷表現がわかりやすく伝わるように平面的にしました。元来は野暮ったいはずのモチーフが新鮮に見えるように心がけ、印刷表現でもそれを追いかけてデザイン、印刷の両輪で実現しようと考えました。

それに、印刷の実験をするだけだったなら、なにもデザイナーがやらなくてもいい。でも、この企画は印刷表現を使ってなにを再現するのが重要で。だから、この作品で精神的なものまで再現したいという思いもありました。

図面のような要素が散見されますが、

ボルトやネジやナットは目立たないけれどすごく頑張っているし、いろいろな表情があります。

斜線で描かれているのは、「そこにあるはずのもの」です。たとえば表面を覆う化粧板とか。本来はそっちが主役で前面に出てきますが、今回はポジションを反転させ、部品を引き立てる脇役になってもらいました。

タイトルは設計図のような書体要素

を組み合わせ、画面に配置した文字の「トルク」、矢印や回転の記号とともにパーカッションのような背景音としてシズル感を組み立てました。

色玉やそれらの情報も必見ですね。

「グラフィックトライアル」ですからね、ネジのアートではなく、僕らなりにトライアルをしていることを表現したくて。校正紙の色玉や文字情報とは異なり、見る人がなんとなく印刷方式を想像できるような情報としてデザインに落とし込みました。

トライアル、楽しんで頂けましたか？

楽しみました。すごくバランス良くトライアルできた気がします。印刷実験としても楽しめたし、この経験を今後に活かしてみたいと思います。

なにより考えるきっかけをたくさん得られました。鉄やトルクのことを調べ、自分がなぜ鉄橋やボルトに魅力を見出すのかと考え、平面で頑張っている感じをどう表現するのか突き詰めて。煮詰めたフィロソフィーを紙の上に表すことができました。本当にクリエイティブな時間でしたね。

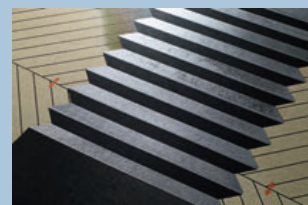
最後に、来場者にメッセージを。

僕たちなりに汗と涙を流したつもりです。よく見ていただければ、その違いや変化が見えてくると思いますので、ぜひそれを楽しんでください。



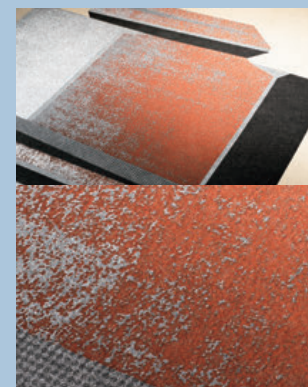
鉄の表情のバリエーション

オフセット印刷とスクリーン印刷の掛け合わせで、光沢感や色味をコントロールして鉄の表情再現に挑戦。オフセット印刷では銀のベースと陰影の調子、色彩のコントロールを行い、スクリーン印刷の高輝度シルバーで光沢の調子をつくり、鉄粉入りのインキで質感をアップさせている。

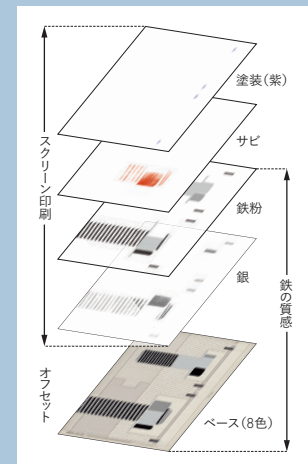


錆の質感表現

スクリーン印刷は、メッシュの網目を通る大きさなら粒状の固形物もメジウムに混ぜて印刷ができる。そこで本物の鉄粉をインキに混ぜ、ざらざらとしたサビの質感づくりに挑戦した。

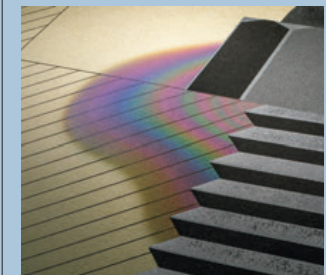


版構造



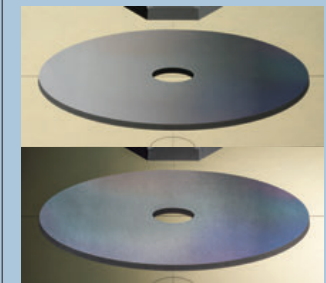
油膜の表現

機械油独特のキラキラとした玉虫色を、見る角度や光線の加減で色味に変化する偏光パールで表現した。玉虫色の色味はオフセット印刷の掛け合わせでつくり、その上に3色の偏光パールをグラデーションで塗り重ね、光沢感や色味の変化する油っぽさを再現した。



偏光パール

パール顔料を混入した半透明なインキは、光の当たる角度によって色味が変化する。下地の明暗によって発色の強さが大きく異なり、見る角度によって色味を感じたり、感じられなくなったりと変化するのも特徴。





1 BOLT & CAP NUT

印刷方式【色数】—H-UVオフセット印刷【8】+シルクスクリーン印刷【6】
 スクリーン——AM175線、200メッシュ、250メッシュ、280メッシュ
 用紙——ヴァンヌーボF-FS ナチュラル 135kg

2 SCREWS

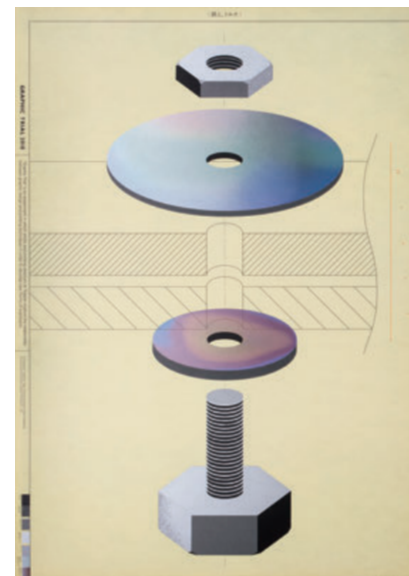
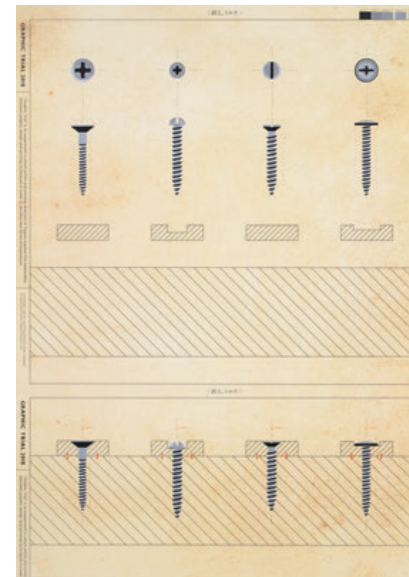
印刷方式【色数】—H-UVオフセット印刷【8】+シルクスクリーン印刷【2】
 スクリーン——AM175線、200メッシュ、280メッシュ
 用紙——ハーフエア ヘンプ 110kg

3 U-BOLT

印刷方式【色数】—H-UVオフセット印刷【9】+シルクスクリーン印刷【4】
 スクリーン——AM175線、200メッシュ、280メッシュ
 用紙——ハーフエア ヘンプ 110kg

4 BOLT & WASHERS

印刷方式【色数】—H-UVオフセット印刷【8】+シルクスクリーン印刷【6】
 スクリーン——AM175線、200メッシュ、250メッシュ、280メッシュ
 用紙——ヴァンヌーボF-FS ナチュラル 135kg



5 BOLTS

印刷方式【色数】—H-UVオフセット印刷【8】+シルクスクリーン印刷【4】
 スクリーン——AM175線、200メッシュ、250メッシュ、280メッシュ
 用紙——ハーフエア ヘンプ 110kg

